

【ミズベリング・アドバイザーズ】  
水辺活用へ知見共有  
最新の活動事例紹介

## 2017年3月9日付 建設通信新聞 第12面(最終面)

### さあ、学習を始めよう！ その方法は？

今回は学科試験の傾向についてお伝えしたが、それでは具体的にどのような勉強をすればよいのだろうか。その答えは簡単である。過去問が解けるまで繰り返し勉強すればよいのだ。特に施工管理技術検定の学科試験は過去に類似問題が多く、合格するためには過去問を解くことが絶対条件だ。また、試験本番で力を発揮するためにも、試験問題を数多く解くことは不可欠である。

従って10年分の過去問題を繰り返し解くことができれば合格することは可能だろう。しかし、科目によっては900問前後の問題を解かねばならず、膨大な学習時間を要する。

学習に専念できる環境があれば、それでも問題ないだろう。しかし、施工管理技術検定の受験生は多くが業務多忙で受験対策に時間的制約のある社会人である。帰宅後や休日に受験勉強を行うことになるが、その時間を確保するのは容易ではない。

施工管理技術士 合格のポイント③

最大の結果を出す勉強法

#### ■学科試験の出題形式

過去問を見ていただくと、学科試験は例年、四択一の一マークシート式である。1つの問題に4つの選択肢があり、この中から1つの選択肢を選ぶ方式で出題される。出題パターンを分析すると、①誤っている(適当でない)ものはどれか(全体の75%程度はこのパターン)、②正しい(適当な)ものはどれか(全体の20%程度はこのパターン)、③その他のパターンである。

この出題形式が受験者にとって有利な点は、選択肢の中に必ず1つ正解がある点だ。言い換えれば、受験者全員が共通して、既に正解する確率を25%持っているということである。

「簡単だ！」と思った方、そのとおりである。試験の出題形式上、受験者にとってかなり有利に構成されていると考えていいだろう。

■「時間も費用、勉強に使える時間には限界があり、出

講習会(例: C I C日本建設情報センター)・独学比較一覧

	費用	時間	学習効果
講習会	受講料(一定額) テキスト代込み	通学:決まったスケジュールに参加するので自己管理が苦手な人にオススメ 通信:自由(自己管理ができる人向け)	ポイントを絞った学習(学習効果高)
独学	市販の教材購入費用など 購入するほど費用がかかる どれを選べばいいかわからない	自由(自己管理ができる人向け)	個人差あり

### 社会人は効果的学習が不可欠

題の確率が低い範囲まで学習するのは効率が悪い。それよりも、過去の試験問題を分析した上で出題の確率が高いと考えられる内容を十分に学習することが最適な方法である。

そこで、学習時間短縮の一翼を担うのが講習会である。受験対策とは合格点に達するための勉強であり、高得点を取ることはない。広範囲にわたる網羅的な

学習は単に時間の無駄である。合格点獲得を目的とした出題可能性が高い論点と試験直前の学習術を提供するのが講習会である。

学科試験における過去問の高い重要性から、C I Cの講習会では過去問とリンクしたテキストを中心とした講義を実践している。通常であれば別々に学習するテキストと過去問題。この性質の異なる



講習風景

教材を同時平行に解説することで受講中に学んだ知識が実際の試験でどのように出題されるかを認識でき、その場での知識の定着と復習時間の削減が期待できる。

また、試験本番までに最低限解いてもらいたい出題頻度の高い過去問を選定し配付している。

努力すれば独学でも合格は可能だ。しかし、時間も大きな費用である。せっかくの学習時間を効果的に利用するために一度、短期で合格するためにプロが組み立てた講習会に参加することも考えてみてはどうだろうか。

(C I C日本建設情報センター)